

1年 技術・家庭科（技術分野）シラバス

技術・家庭科とは

技術・家庭科は中学校でスタートする教科です。小学校の時には、家庭科を学んできましたが、中学校では家庭科に加えて技術という分野が増えます。技術は、家庭科と同じように私たちの生活との関わりについて学び、生活に必要な基礎的な力を身につけ、さらには、生活を工夫し創造することができる実践的な力を身につける教科です。技術分野には、「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」という内容があります。生活と身近な教科なので、学んだことを自分の生活に生かして下さい。

1. 中学技術・家庭科の目標

<技術・家庭科の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる

<技術分野の目標>

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

2. 技術・家庭科（技術分野）で重視することから

1年生の技術・家庭科（技術分野）では、

生活に役立つ
ものを製作する
ことを通して

- 製作に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活と技術とのかかわりについて理解する。
- 自ら課題を見つけ、課題の解決を目指して自分なりの方法を考え、試してみる。



3. 力を向上させる方法

①生活や産業の中での技術の役割について考える。

昔はどんな生活してたの？

どんなところが便利になったの？

自然や環境に対する影響は？



②身近な生活に役立つものの製作を通して、製作品の設計や基本的な知識と技術について学ぶ。

どうやって作るの？

この工具どうやって使うのかな？

この機械どうやって使うのかな？



4. 評価の観点

評価の観点	評価の規準	評価の方法
主体的に実践する態度	<p>○進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身につけ、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に役立つものの製作を通して、製作品の構想に関心を持ち、意欲的な態度で製作しようとしている。 ・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて工具を適切にしようしようとしている。 ・製作を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント ・自己評価 ・学習活動の観察
生活を工夫し創造する能力	<p>○生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技術を適切に活用する方法を考え出している。 ・製作品の使用条件や使用目的に応じて、自分なりの機能や構造が考え出されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品 ・学習プリント ・学習活動の観察
生活や技術についての知識・技能	<p>○製作に必要なとされる基礎的・基本的な知識を身につけ、生活と技術のかかわりについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの使用目的に応じた製作品の設計ができる。 ・製作に必要な工具を適切に安全に使用することができる。 ・製作品の構想表示の方法を理解している。 ・製作に必要な加工技術に関する知識を身につけ、工具の仕組みなどについて理解している。 ・技術と社会や環境との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品 ・学習プリント ・学習活動の観察 ・テスト

5. 年間学習予定 * 後期は家庭分野を学習します。

月	学習内容	学習活動
4	1, 技術の発展と生活とのかかわりを考えよう。	1 わたしたちの生活の中で利用されている技術を見つけて分析する
5	2, 「生活に役立つもの」を製作しよう。	2 実習を通してそれぞれの技術と知識を身につける
6	①整理BOXを作ってみよう	●構想したものを図に表す(設計)
7	②マルチラックを作ってみよう	●材料に加工のための線をかき(けがき)
	3, 植物の栽培に取り組もう。	●材料を切ったり削ったりする(部品加工)
		●組み立てる
		●仕上げる
		3 野菜を容器で栽培することで、作物の栽培の基礎的、基本的な技術と知識を身につける

2年 技術・家庭科（技術分野）シラバス

技術・家庭科とは

技術・家庭科は中学校でのみ履修する教科です。小学校では家庭科を学んできましたが、中学校では家庭科に加えて技術という分野が増えます。技術は、家庭科と同じように私たちの生活との関わりについて学び、生活に必要な基礎的な力を身につけ、さらには、生活を工夫し創造することができる実践的な力を身につける教科です。技術分野には、「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」という内容があります。生活と身近な教科なので、学んだことを自分の生活に生かして下さい。

1. 中学技術・家庭科の目標

<技術・家庭科の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる

<技術分野の目標>

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

2. 技術・家庭科（技術分野）で重視することから

2年生の技術・家庭科(技術分野)では、

製作や実験を通して

- 基礎的・基本的な知識、技術を身につけ、生活と技術とのかかわりについて理解する。
- 自ら課題を見つけ、自ら解決していく態度と技能を身につける。



3. 力を向上させる方法

ものづくりの基礎的・基本的な内容を実践的・体験的な学習活動を通して学ぶ。

①エネルギー変換や生物育成に関する知識や技術について関心を持つ。

生活にどのように生かされているの？

どんなものがあるのかな？

どんなところが便利になったの？



②課題に対して自分なりの解決方法を見つけだそう。

どうやって修理しよう？

失敗をしないためにはどうすればいいだろう？



②身の回りの生活に生かす方法を考えよう。

今度家でやってみよう。

生活に中の〇〇に生かそうだな。

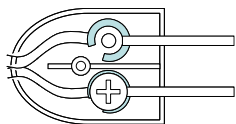


4. 評価の観点

評価の観点	評価の規準	評価の方法
主体的に実践する態度	<p>○製作を通して、エネルギーの変換や利用に関する知識や技術について関心を持ち、製作品の構想や製作に意欲的な態度で取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて工具や機器を適切で安全にしようとしている。 ・製作品の調整や修正を的確に行おうとしている。 ・製作を振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品 ・学習プリント ・設計図 ・学習活動の観察
生活を工夫し創造する能力	<p>○自らの課題を解決するために、習得した知識や技術を適切に活用する方法を考え出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作品の構想に発想の豊かさがみられる。 ・自らの課題を解決するために、独自の工夫や創造性を発揮している。 ・習得した知識や技術を適切に活用し、能率良く作業を進める方法を考え出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品 ・学習プリント ・設計図 ・学習活動の観察
生活や技術についての知識・技能	<p>○エネルギー利用に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活や産業の中で技術が果たしている役割について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの使用目的に応じた製作品の設計ができる。 ・製作品の調整や修正ができる。 ・加工の目的や材料に適した加工法に関する知識を身につけ、工具や機器の仕組み付いてついて理解している。 ・電気エネルギーの変換内容や利用方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品 ・学習プリント ・学習活動の観察 ・設計図 ・テスト

5. 年間学習予定 * 前期は家庭分野を学習します。

月	学習内容	学習活動
10	1. エネルギー変換について考えよう。	1 電気エネルギーを中心に、身の回りにある「エネルギーを利用しているもの」を見つけて分析する。
11	2. 電気エネルギーを利用したものを製作しよう。	2 「LEDライト」を製作する。
12		
1		
2	3. 機械の仕組みを考えよう。	3 「プチロボ」を製作する。
3		



3年 技術・家庭科(技術分野)シラバス

技術・家庭科とは

技術・家庭科は中学校のみで学習する教科です。小学校の時には、家庭科を学んできましたが、中学校では家庭科に加えて技術という分野が増えます。技術は、家庭科と同じように私たちの生活との関わりについて学び、生活に必要な基礎的な力を身につけ、さらには、生活を工夫し創造することができる実践的な力を身につける教科です。技術分野には、「材料と加工の技術」「生物育成の技術」「エネルギー変換の技術」「情報の技術」という内容があります。生活と身近な教科なので、学んだことを自分の生活に生かして下さい。

1. 中学技術・家庭科の目標

<技術・家庭科の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる

<技術分野の目標>

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる

2. 技術・家庭科(技術分野)で重視することから

3年生の技術・家庭科(技術分野)では、

コンピュータで
プログラムを
作ったり情報
を処理したり
することを通して

○制作に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活と技術とのかかわりについて理解する。
○自ら課題を見つけ、課題の解決を目指して自分なりの方法を考え、試してみる。

3. 力を向上させる方法

実践的・体験的な学習活動を通して学ぶ。

①習得した知識や技術を活用し、自らの課題を自分なりの方法で解決する。

どうなっているのだろう？

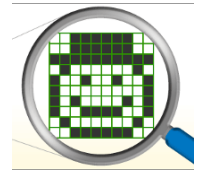
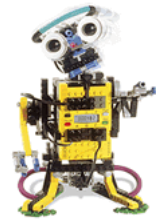
どうしてこうなるのかな？

以前にも似たようなことがあったぞ！

原因はなんだろう？

どうすればいいのかな？

調べてみよう！
試してみよう！



②習得した知識や技術を活用し生活に生かそうとする。

〇〇を整理したいな。

〇〇があったら便利だな。

〇〇を修理してみよう。

〇〇を改良してみよう。



4. 評価の観点

評価の観点	評価の規準	評価の方法
主体的に実践する態度	<p>○生活や産業の中で利用されているコンピュータ等の情報機器や情報通信ネットワークが、生活や産業をどう変化させてきたのかについて調べようとしている。</p> <p>○必要な情報の選択をし、アプリケーションソフトの特性を生かした作品作りを心掛けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリント ・学習プリント ・テスト ・学習活動の観察
生活を工夫し創造する能力	<p>○目的をもってプログラムを制作しようとしている。</p> <p>○見る側がわかりやすいプレゼンテーションにしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作品 ・学習プリント ・テスト ・学習活動の観察
生活や技術についての知識・理解	<p>○目的に応じた簡単なプログラムを制作することができる。</p> <p>○コンピュータ技術の発達が生活様式や職場環境に与えた影響に関する知識を身に付けている</p> <p>○ソフトの特徴と利用方法、データの種類や特徴について理解している。</p> <p>○情報化による影響をあげることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作品 ・学習活動の観察 ・学習プリント ・テスト

6. 年間学習予定

* 奇数クラスは1学期に技術分野、2学期に家庭分野を学習します。偶数クラスはその逆です。
3学期はそれぞれ約3時間程度です。

月	学習内容	学習活動
4 7 10 12	<p>1、生活や産業の中で情報手段の果たしている役割について理解しよう。</p> <p>2、応用ソフトウェアの機能と役割の違いについて理解しよう。</p> <p>3、「生活に役立つプログラムを制作しよう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報手段の特徴や生活とコンピュータとのかかわりについてまとめる。 ●情報モラルについて考える。 ●プログラムを制作、制御する。